補助金調書

補助金名	公共交通バリアフリー化促進事業（鉄道駅）				担当課（連絡先）	住宅都市局都市計画部公共交通推進課（TEL 092-733-5405）
交 付 先	□ 団体	【交通事業者】			区分	建設費に対する補助金
交付先決定方法	□ 公募	（公募の場合）公募時期	随時			
（公募の場合）応募要件	補助目的を達成し得る団体					
（非公募の場合）非公募の理由						
補助開始年度	平成14	年度	経過年数	13	年度	
補助金の目的及び補助対象事業	【補助金の目的】 高齢者や障がいのある人をはじめ全ての鉄道利用者が，安全且つ円滑に駅旅客施設を利用することを目的として，鉄道事業者による駅のバリアフリー化設備整備にあたり，段差解消に係るエレベーター等の設置費用の一部について公費による支援を行うもの。 【補助対象事業】 公共交通バリアフリー化促進事業					
補助金の終期	平成28	年度	延長回数	0	回	
終期を延長する理由						
交付対象経費及び補助金の算定方法等	□ 定額 □ 定率	【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 補助対象経費に3分の1を乗じて得た額以内				
（間接補助の場合）間接補助とする理由及び再交付先への配分基準、審査基準						

交付状況等【上段：交付件数】【下段：決算】（※1）	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度
	件	1 件	0 件	0 件
	96,999（繰越含む） 33,666 千円	33,333（繰越含む） 0 千円	0 千円	0 千円

前年度補助事業の主な実施概要	西鉄三苫駅のバリアフリー化整備について着手（平成25年度へ繰越） 【参考】 西鉄三苫駅における段差解消として，駅改札口からホーム上に昇降するエレベーター2基の設置に対して，その整備費用の一部について補助交付を行った。
補助金交付による効果	高齢者や障がいがある人をはじめ全ての鉄道利用者が，利用しやすい安全で快適な交通環境の創出に向け，公共交通のバリアフリー化の促進に寄与している。 【参考】 国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」並びに「福岡市バリアフリー基本計画」において，平成32年度までに乗降客数3千人以上の駅のバリアフリー化について，原則100%整備する目標を設定している。

※1：金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として（）書きで記載しております。